

「教育実習報告」

[市立 K 中学校 英語] 氏名：I.Y

私は、3 週間、母校の中学校で教育実習を行わせていただきました。この教育実習を通じて、多くのことを学び、気づくことができました。

私は、2 つの目標をもって実習に挑みました。1 つ目は、授業中に不安を生徒に見せないことです。どんなに不安でも、緊張しても生徒にそれを感じられないように動こうと考えていました。しかし、実際に授業が始まると、言い間違えてしまったり、時間にとらわれ焦ってしまうこともありました。生徒には、「先生、緊張していたね。」と言われてしまいました。それだけでなく、グループ活動に参加できていない生徒にあまり声をかけられなかったり、指示をはっきり伝えられなかったりと、失敗ばかりでした。担当学年が 2 クラスであったため、1 つの授業をする機会は 2 回しかありませんでした。1 回目の授業後にどのように改善すればいいか考え、2 回目に挑みました。実際に教員になってからは、この「授業 + 改善」を何度も繰り返して、より良い授業を作っていくのだと感じました。2 つ目の目標は、生徒と積極的に関わることです。休み時間には、階段もしくは次の時間の教室で過ごすように心がけました。毎日のように生徒に「次、何の授業?」「今日は体育で何した?」などと話しかけていくうちに、生徒の方から話しかけてくれることも増えてきました。しかし、ここに至るまでには生徒の助けも多くありました。初日の朝に担当クラスで自己紹介を行いました。自己紹介後のクラスの雰囲気がとても静かで、授業や昼休みに教室へ行ったときに話しかけても反応してくれなかったらどうしようと不安になりました。しかし、昼休みに教室に行ってみると、数人の生徒が「昼ご飯、一緒に食べよう。」と誘ってくれました。もし、生徒たちの言葉がなければ、なかなか話しかけることができなかつたかもしれないと思うと、本当に生徒に助けられたと思います。

教育実習中に特に大切だと思ったことが 2 つあります。1 つは、固定の考えを持たないことです。それぞれのクラスにあった授業の進め方、グループの作り方を考えていかなければならないと気づくことができました。2 つ目は、生徒の「できた!」や「わかった!」をしっかりと拾うことです。生徒からの発信をしっかりと受け取らないと生徒のやる気を奪ってしまうことになると感じました。この 2 つに関しては、どうすればいいのか、これからも考え続けようと思います。

教育実習前に、私は将来、教員になりたいと思っていました。しかし、教育実習に行くと、この考えは変わりました。教員になりたいというだけでなく、教員になって生徒と一緒にこんなクラスにしたい、こんな授業をしたいという具体的な目標を持つようになりました。教育実習では、授業中だけでなく授業以外にも生徒から学ぶことが数多くありました。また、それも大切ですが、生徒から学んでばかりではなく、生徒の見本になれるように、これからも学び続けて、教員になろうと思います。教育実習をさせてくださった中学校、教育実習中にお世話になった先生方や担当の先生、生徒への感謝は絶対に忘れないようにします。